

平成22年主要災害種類別被害概況

災害種類別被害概況

1 3月下旬の降霜による農作物被害

3月下旬の降霜により、果樹では幼果の凍結や新芽の枯死、工芸農作物の茶で新芽の変色や枯死等の被害が発生し、被害面積は2万6,900ha、被害見込金額は88億円となった。

(1) 気象概況

3月下旬に、強い寒気が流れ込んだ影響で全国的に顕著な低温となり、降霜となった。

(2) 作物別被害

作物別の被害見込金額は、工芸農作物が44億9,000万円(被害総額の51%)と最も大きく、次いで果樹が39億4,000万円(同45%)となった。

(3) 都道府県別被害

都道府県別の被害見込金額は、静岡県が44億3,000万円(被害総額の50%)と最も大きく、次いで和歌山県が20億1,000万円(同23%)となった。

表1 - 1 被害概況(総括表)

区 分	被 害 面 積		被 害 量	被害見込金額	構 成 比	主 な 被 害 地 域
	30%以上	30%以下				
	ha	ha	t	百万円	%	
総 数	26 900	3 370	32 300	8 800	100	
麦 類	3 630	1 210	3 500	213	2	熊本
野 菜	1 020	0	1 480	150	2	長崎、熊本
果 樹	7 310	1 300	16 600	3 940	45	和歌山、熊本、山梨
工 芸 農 作 物	14 900	863	10 700	4 490	51	静岡、長崎

注：被害面積欄に示されている「30%以上」は、被害量が平年(平均)収量の30%以上あった面積をいう(以下の各表において同じ。)

災害種類別被害概況

2 4月中旬の低温・積雪等による農作物被害

4月中旬の低温・積雪等により、果樹等で受精不良による着果数の減少、枝折れ等の被害が発生し、被害面積は2,720ha、被害見込金額は16億4,000万円となった。

(1) 気象概況

4月中旬の中頃に、非常に強い寒気が流れ込んだ影響により全国的に顕著な低温となった。また、17日には、関東甲信地方から東北地方南部にかけての広い範囲で降雪及び積雪を観測した。

(2) 作物別被害

作物別の被害見込金額は、果樹が16億円(被害総額の98%)と最も大きく、次いで野菜が3,800万円(同2%)となった。

(3) 都道府県別被害

都道府県別の被害見込金額は、鳥取県が12億8,000万円と最も大きく、被害総額の78%を占める被害となった。

これは、主に日本なしにおいて開花期が極度の低温となったことにより、広範囲で受精不良による着果数の減少があったためである。

表2 - 1 被害概況(総括表)

区 分	被 害 面 積		被 害 量	被害見込金額	構 成 比	主 な 被 害 地 域
	30%以上					
総 数	2 720	552	6 250	1 640	100	
野 菜	124	12	155	38	2	山梨
果 樹	2 580	539	6 090	1 600	98	鳥取、山梨
工 芸 農 作 物	13	1	4	2	0	山梨

注： 被害量は枝折れ(果樹)等の状況をもとに算出したものである。